

北秋田市発明工夫展

モノづくりで創造力を育む



市長賞を受賞した野口さん

第5回北秋田市発明工夫展の表彰式が9月13日、市中央公民館で行われ、ユニークな作品や想像力あふれる作品が展示されました。表彰式では、入賞した子どもたちに表彰状と記念品が贈呈されました。

応募数は79点で昨年の倍近く
創造力とアイデア溢れる作品

力作揃いで
審査は3時間に及ぶ

発明工夫展は、子どもたちの観察力・創造力など科学する目を養うため、市内各小学校の児童を対象に夏休みに製作したアイデア作品・便利な作品を募集し開催しているもので、今年も9校から79点の応募があり、29人が入賞しました。

入賞作品は、ろうそくやダンボール、紙コップなど身の回りにある素材を再利用したり、創意工夫したユニークなものばかり。佐藤和博審査委員長（合川西小校長）は、審査員6人が、作品一つひとつの出品カードを読みながら、実際に動かしてみたり、使ってみたりして、審査しました。素晴らしい作品が多く、審査は3時間にも及びました。生活を便利にしよう、楽しくしよう、安全にしようとする思いの強い作品が多かった。発明や工夫は自分の願いや思いを実現するときには大切になる考え方、これからも続けてほしいなどと講評しました。

入賞は、市長賞・教育委員長賞・議長賞・教育長賞・審査委員長賞の特別賞（各1名）と金賞（8名）、銀賞（16名）。表彰式で、杉淵敬輝教育次長は、「今年度は、昨年度の倍近い79点の出品があった。夏休みに家族と一緒に、楽しく取り組んだ様子が伺われる作品ばかりで嬉しい気持ちになりました。アイデアのヒントは身近なところにある。また、新しい作品づくりに活かしてほしいなどあいさつ。」

市長賞のほか入賞者は次のとおりです。特別賞については、講評も掲載しています。

市長賞 野口博史さん（鷹巣小学校6年）
「安全消火ろうそく立て」

ろうそくの消し忘れは火災の大きな原因のひとつとなっていますが、そんな心配を吹き飛ばすアイデアアンバーワンの作品です。ろうそくが短くなると自動的に、しかも確実に消火する仕組みがよ

くできています。燃やす長さを自由に調節でき、ろうそくを上げられるようにしています。紙コップの上のそのつのも1年生らしく、かわいらしくできています。毎朝、このカレンダーを使って日にちを確認すると、ルンルンとした楽しい気分です。

議長賞 岩谷駿一郎さん（綴子小学校1年）
「どうぶつカレンダー」

カラフルな紙コップをうまく使って、簡単に交換できる楽しいカレンダーに仕上げられています。紙コップの上のそのつのも1年生らしく、かわいらしくできています。毎朝、このカレンダーを使って日にちを確認すると、ルンルンとした楽しい気分です。



審査委員長賞 畠山鈴音さん（鷹巣小学校1年）

「ゴミの分け方 おぼえま表」
資源ゴミの分別の仕方を理解することは、これからの生活の中で大切なことです。この作品は、分別の仕方をゲーム感覚で楽しく覚えることができるようにするための工夫とアイデアに富んでいます。ボードと磁石をうまく利用して、どんな場所にも取り付けて利用できるようにしています。正解とヒントが裏面にあるところも感心しました。

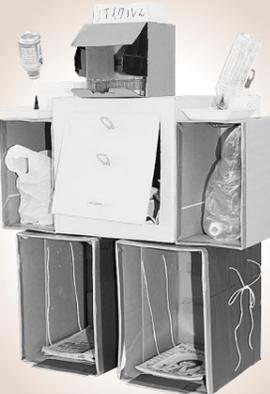


教育長賞 嘉成大地さん（鷹巣中央小学校3年）
「ワン キャッチ」

毎日の犬の散歩の時のフンの始末はなかなか大変ですが、それを手助けしてくれる実用性ナンバーワンの作品です。どこの家庭にもある身近な素材を上手に活用しています。バネやタッパーウェアをうまく取り入れてフンがうまく拾えるように工夫されています。ビニール袋の使い方も考えられています。

- 金賞（8点）
小平千尋（鷹巣小2年）
羽澤海斗（綴子小2年）
五十嵐琴乃（鷹巣東小3年）
佐藤宏樹（綴子小4年）
木村駿太（米内沢小4年）
三澤和季（綴子小5年）
三沢晟史（綴子小5年）
村上愛奈（鷹巣東小6年）
銀賞（16点）
長岐光瑠（鷹巣南小1年）
山本英駿（鷹巣小2年）
若松陽弥（鷹巣小2年）
高橋愛奈（綴子小2年）
畠山杏樹（鷹巣東小3年）
佐藤優（綴子小3年）
齋藤大輝（鷹巣中央小3年）
久住菜（浦田小3年）
鈴木誠也（合川西小3年）
木村賢太郎（合川北小3年）
畠山成琉（鷹巣東小4年）
瀬川森詩（鷹巣小5年）
加藤徹平（鷹巣中央小5年）
中田紫乃（鷹巣南小6年）
神成舞雲（鷹巣南小6年）
小林雅也（米内沢小6年）

- 教育委員長賞 畠山竜一さん（綴子小学校4年）
「特大ロボット リサイ君」
ゴミの分別はどこの家庭でも悩みの種ですが、簡単に種類ごとに分けられる仕組みをダイナミックなロボットの形に仕上げたアイデアに優れた作品です。ペットボトルの水切りや古紙をまとめるための紙ひもの置き方など、細かいところも大変工夫されていて、ねいに作られています。



「特大ロボット リサイ君」
ゴミの分別はどこの家庭でも悩みの種ですが、簡単に種類ごとに分けられる仕組みをダイナミックなロボットの形に仕上げたアイデアに優れた作品です。ペットボトルの水切りや古紙をまとめるための紙ひもの置き方など、細かいところも大変工夫されていて、ねいに作られています。



「ワン キャッチ」
毎日の犬の散歩の時のフンの始末はなかなか大変ですが、それを手助けしてくれる実用性ナンバーワンの作品です。どこの家庭にもある身近な素材を上手に活用しています。バネやタッパーウェアをうまく取り入れてフンがうまく拾えるように工夫されています。ビニール袋の使い方も考えられています。